

ラジオ放送事業者の経営概況と ラジオにおける新しい動き

平成28年1月29日
総務省

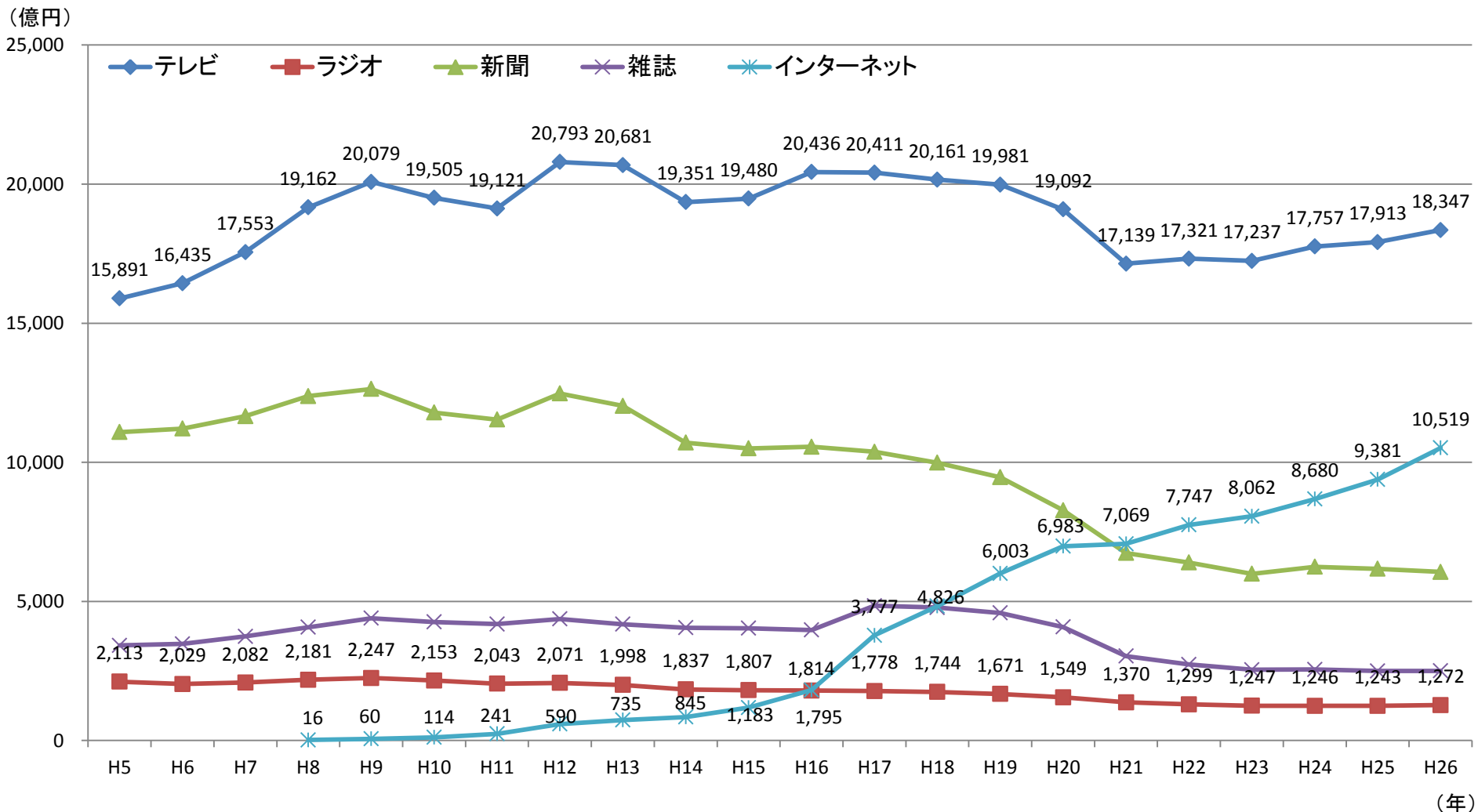
目次

1. ラジオ放送事業者の経営概況	・・・ 2
2. ラジオにおける新しい動き	
2-1. FM方式によるAM放送の補完	・・・12
2-2. デジタル放送の取組	・・・20
2-3. 受信機の普及への取組	・・・26
2-4. インターネットによる配信	・・・33

1. ラジオ放送事業者の経営概況

民間ラジオの経営状況 ① 広告費の推移

- ▶ テレビ(地上放送)の広告費は、リーマンショック(平成20年)の影響により平成21年に大きく減少したが、その後は回復傾向である一方、ラジオの広告費は平成10年から減少。
- ▶ 新聞及び雑誌広告費が減少する一方、インターネット広告費は順調に増加し、平成26年に初の1兆円越え。



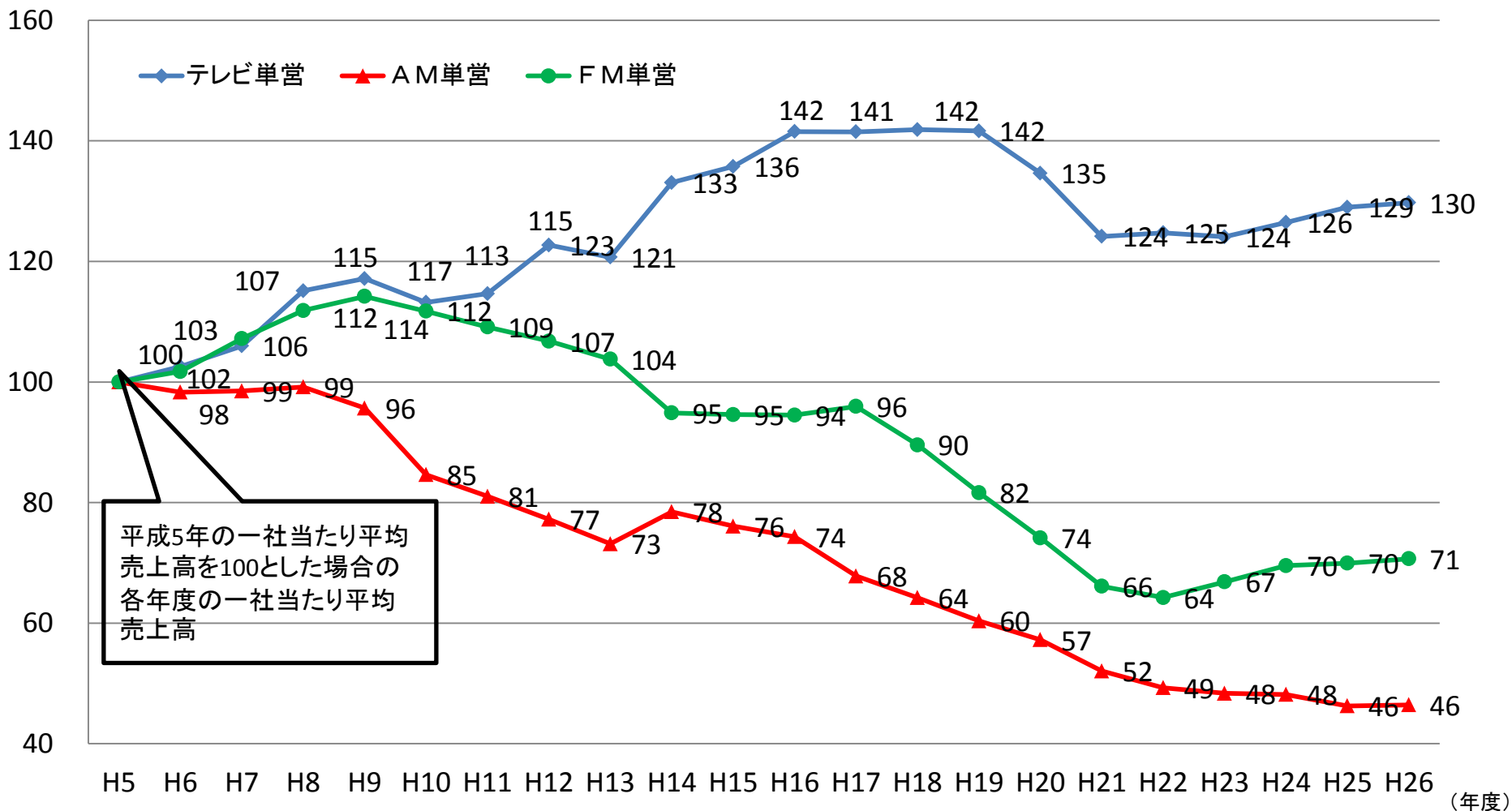
(注)「雑誌」及び「インターネット」については、平成19年に平成17年まで遡って推定範囲を改訂(「雑誌」の推定対象誌を増加(専門誌・地方誌等を拡張)、「インターネット」は媒体費に加えて広告制作費を推定)。

このため、「雑誌」及び「インターネット」の平成16年及び平成17年の数値は、厳密には連続しない。

出典:『日本の広告費』(電通)

民間ラジオの経営状況 ②売上高の推移

- AM単営社は一貫して減少傾向にあり、平成26年度には平成5年度の約5割の水準まで減少。
- FMは、平成10年度から減少傾向で、平成22年度以降回復傾向にあるものの、平成26年度には、平成5年度の約7割の規模まで減少。
- (参考)テレビ単営の売上高はリーマンショック(平成20年度)以降減少に転じたものの、ここ数年は回復傾向。

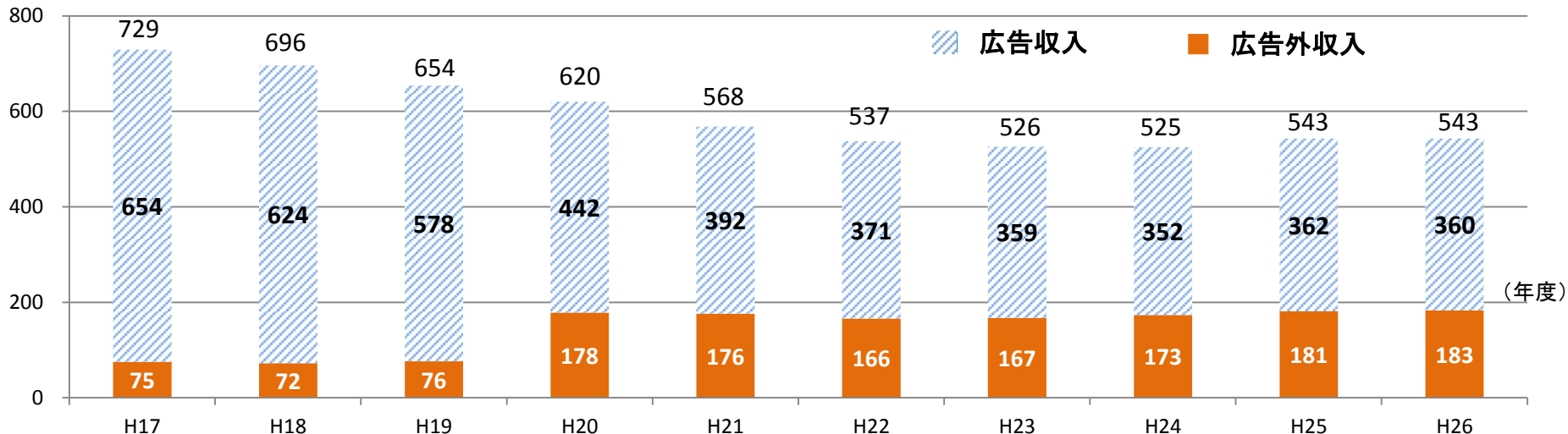


平成5年の一社当たり平均売上高を100とした場合の各年度の一社当たり平均売上高

※平成14年度のテレビ単営及びAM単営が増加しているのは、TV・AM兼営だったTBSがTVとAM単営に分社化し、その売上高が加わったため。
 ※平成25年度よりラジオ・テレビ分社化に伴い、CBCもテレビ単営及びAM単営にそれぞれ追加。

- AM単営社の売上高は右肩下がりであったが、近年は横ばい。関東広域3社で約7割を占める。
- 平成22年度以降、広告外収入(イベント、グッズ販売等による収入)が増加傾向。

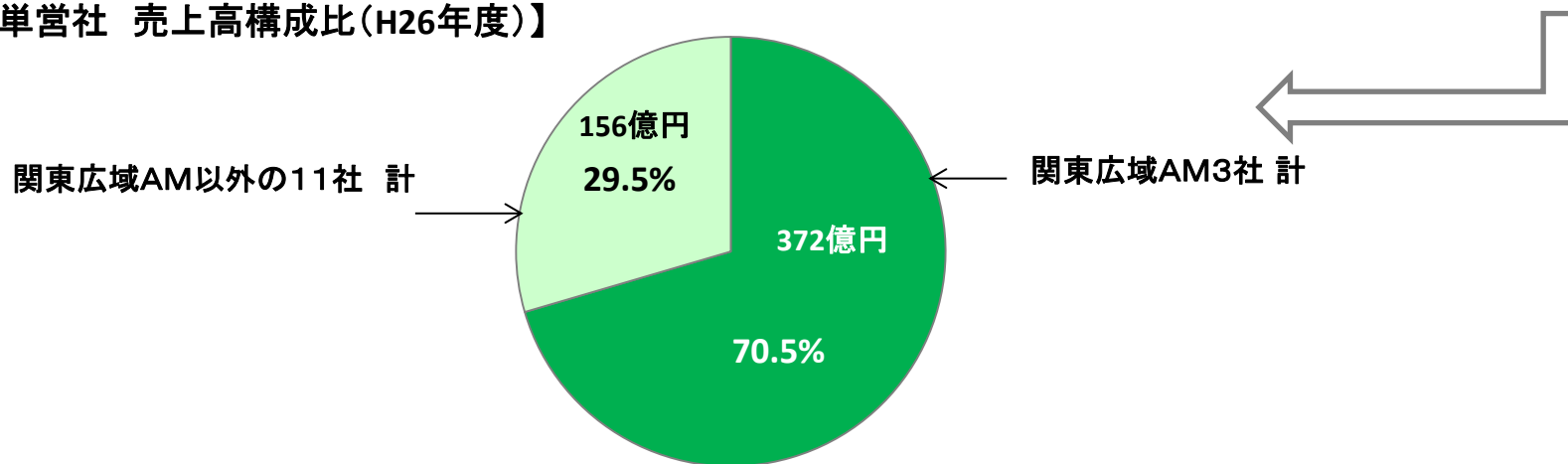
(億円) 【AM・短波 単営社(計15社)】 ※事業者数: AM14社・短波1社(AMはH17~24年度は13社。H25年度にラ・テ兼営社が分社化し1社増)



※1:「広告収入」:タイム+制作収入、スポット収入、「広告外収入」:売上高から広告収入を差し引いた額

※2:H19→H20の広告外収入の増は一部社の計上区分変更によるもの。

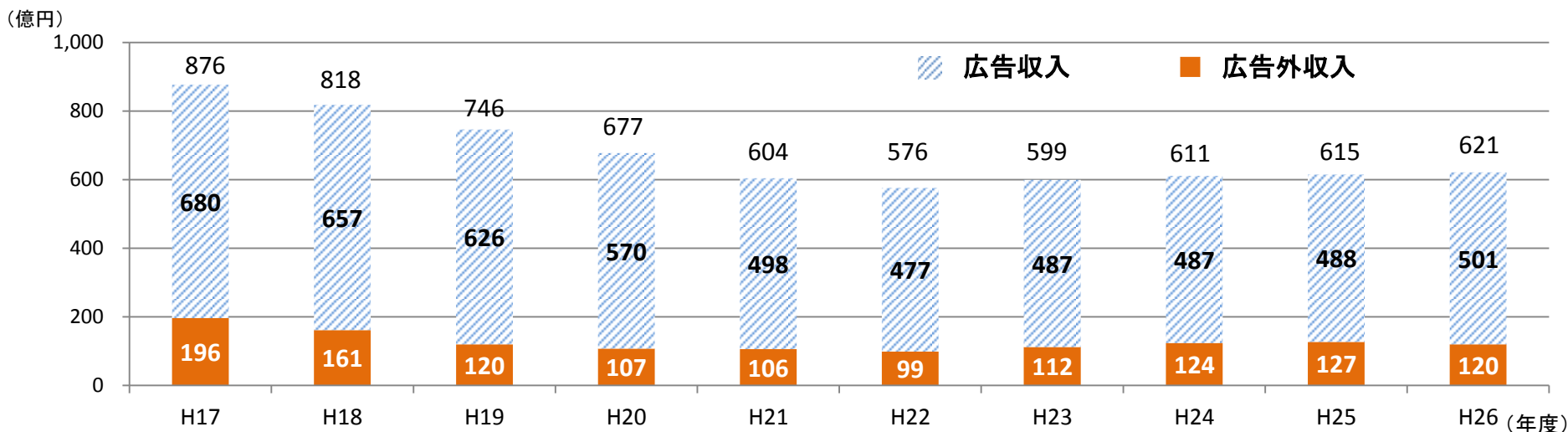
【AM単営社 売上高構成比(H26年度)】



- FM社の売上高は、平成22年度までは減少していたが、その後、増加に転じている。
- 売上高に占める広告外収入の割合は、FM社全体では2割前後で推移。

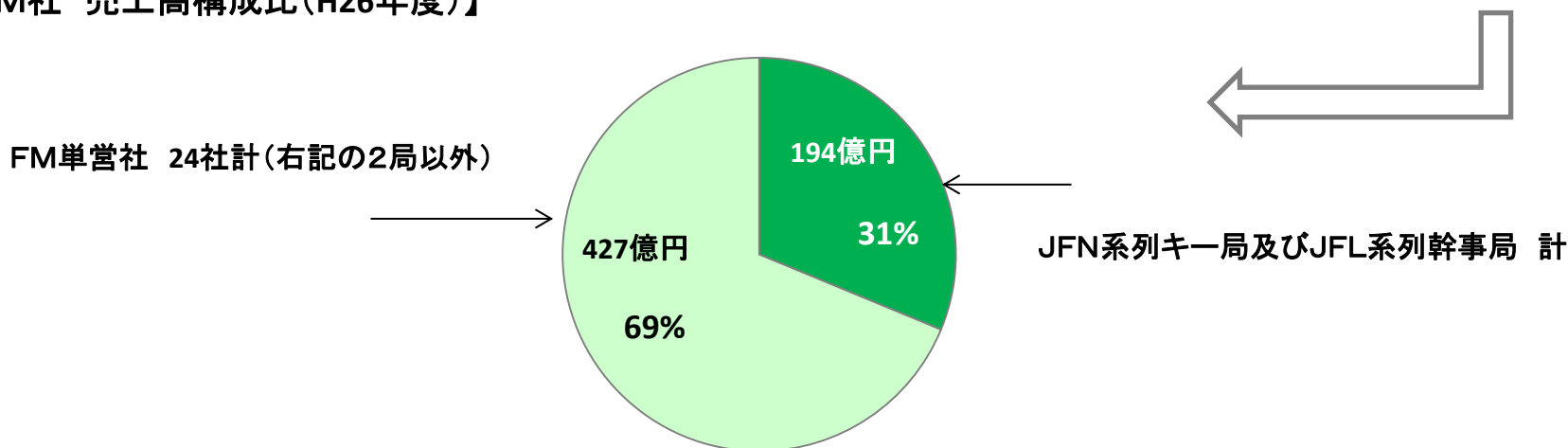
【FM社(全社(51社))】

※ 事業者数は51社(平成15～21年度は53社、平成22・23年度は52社)。



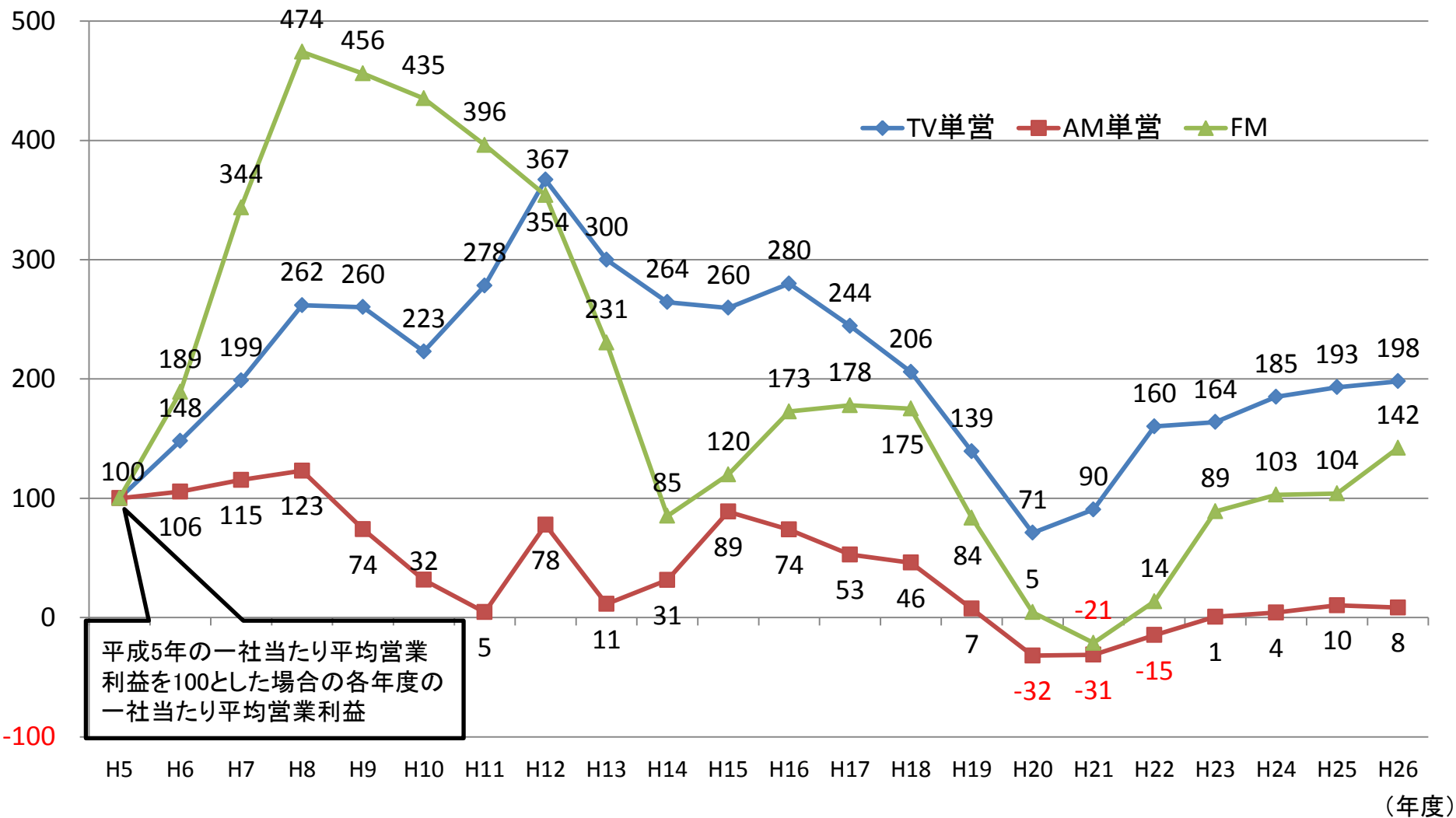
※1:「広告収入」:タイム+制作収入、スポット収入、「広告外収入」:売上高から広告収入を差し引いた額

【FM社 売上高構成比(H26年度)】



出典:『日本民間放送年鑑』(日本民間放送連盟)掲載データより総務省作成

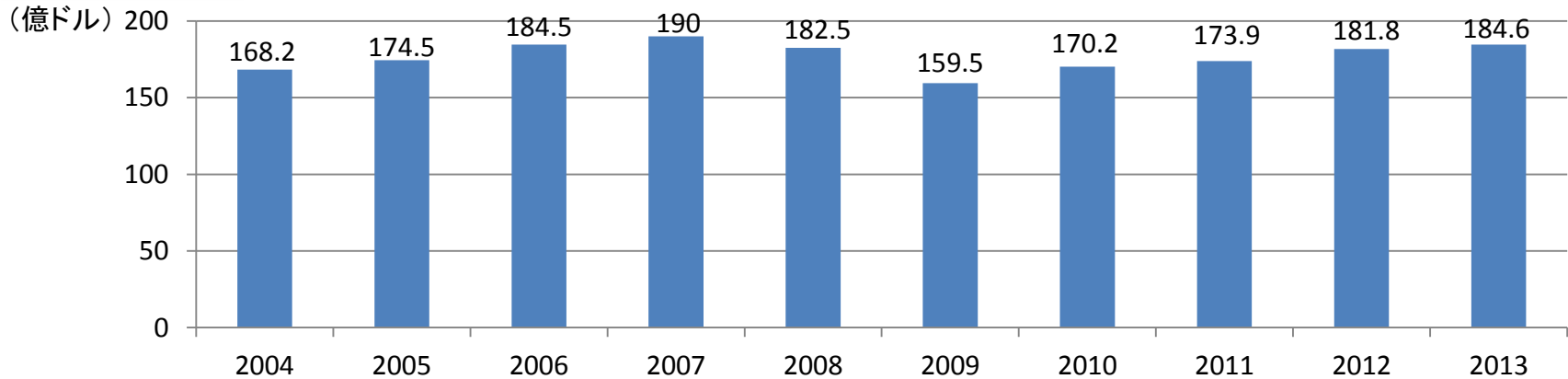
➤ AM単営、FMともに平成20年度(リーマンショック)頃まで減少傾向で、その後やや回復したが、平成26年度においてもピーク時には遠く及ばず、AM単営は平成5年度の水準にも戻っていない。



➤ 欧米主要国では、ラジオの市場規模は減少傾向にはない。

米国

民間ラジオ事業者の収入(推計値※)

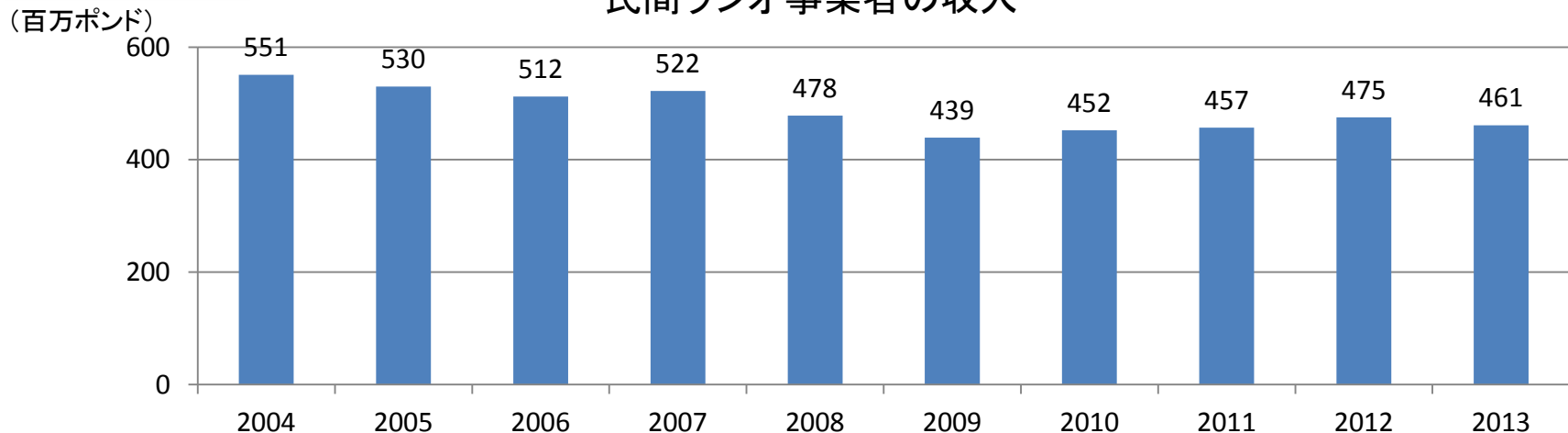


※民間ラジオ事業者上位50社の収入から算出。

【出典】U.S. Census Bureau “Estimated Revenue by Tax Status for Employer Firms” 2014 (<http://www.census.gov/>)

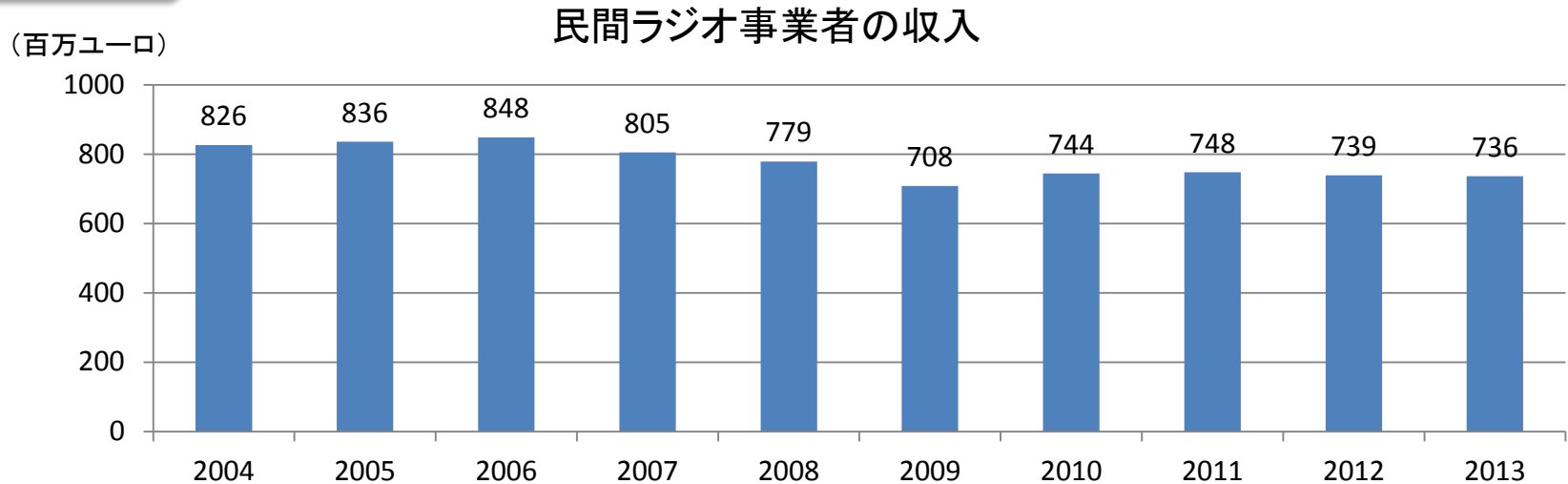
英国

民間ラジオ事業者の収入



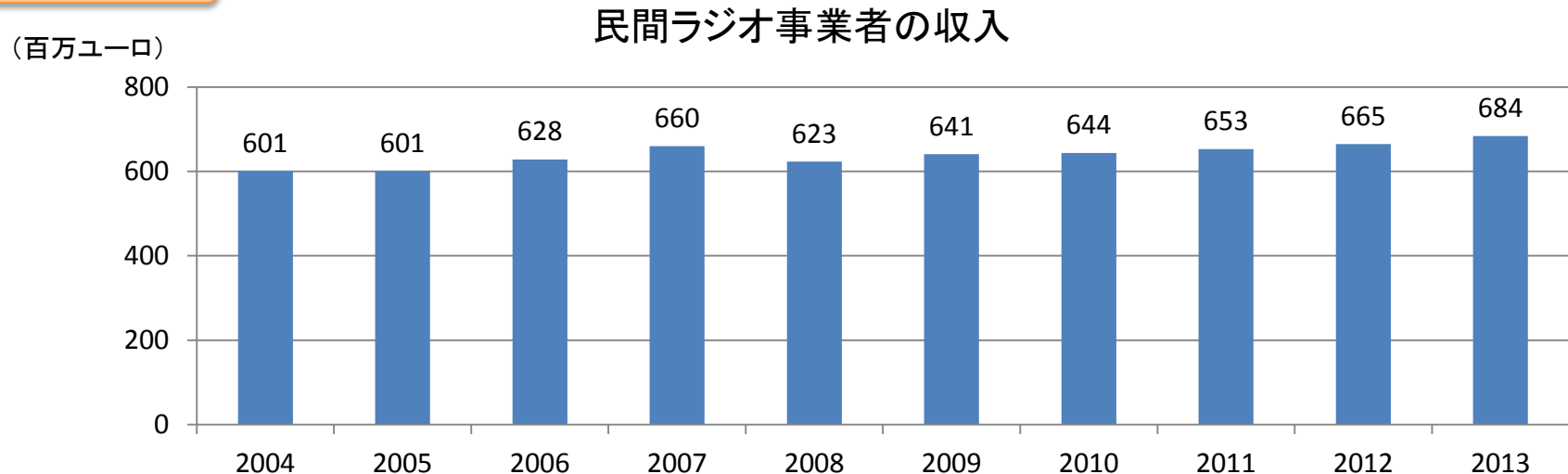
【出典】Ofcom “Communications Market Reports” 2005–2014 (<http://stakeholders.ofcom.org.uk/>)

フランス



【出典】Conseil supérieur de l'audiovisuel (CSA) “Annual report 2014” 2015 (<http://www.csa.fr/>)

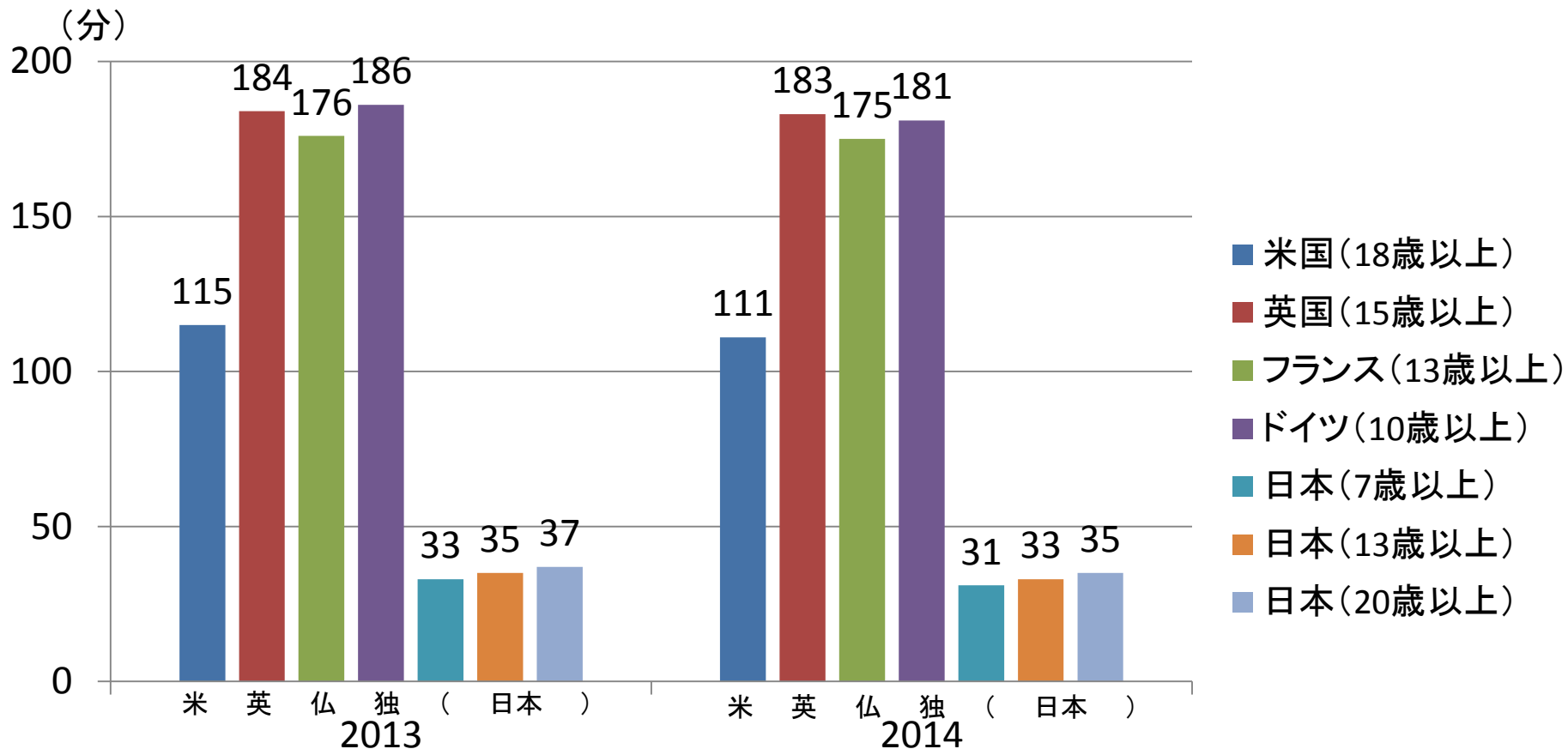
ドイツ



【出典】Bayerische Landeszentrale für neue Medien(BLM) “Wirtschaftliche Lage des Rundfunks in Deutschland” 2015 (<http://www.blm.de/>)

(参考) 主要国におけるラジオ聴取時間の比較

1日当たりのラジオ聴取時間



【出典】 米国 : Nielsen “The Total Audience Report” 2015 (<http://www.nielsen.com/>)
英国 : Ofcom “Communications Market Reports” 2014-2015 (<http://www.csa.fr/>)
ドイツ : Die Medienanstalten “Jahrbuch” 2014-2015 (<http://www.die-medienanstalten.de/>)
フランス : CSA “Les chiffres clés de l’audiovisuel français” 2015 (<http://www.csa.fr/>)
日本 : NHK放送文化研究所「全国個人視聴率調査」2013年11月、2014年11月調査を基に作成 (<http://www.nhk.or.jp/>)

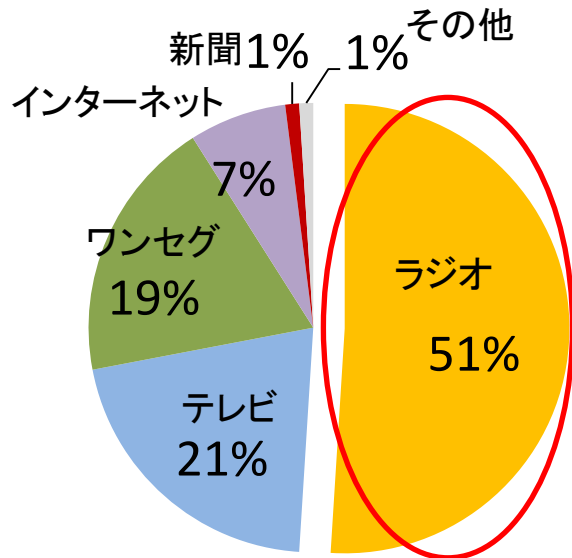
2. ラジオにおける新しい動き

2-1. FM方式によるAM放送の補完

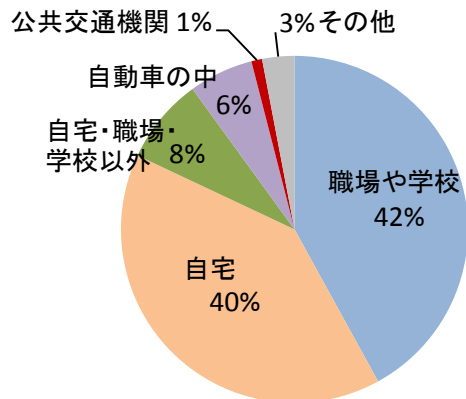
災害時におけるラジオの有用性

- 東日本大震災の際は、発生直後から、テレビ・ラジオともに特別編成番組へ移行。長期間にわたり、被災情報、安否情報、生活情報など、必要とされる情報を提供し続けた。
- 放送、特にラジオは、輻輳がなく安定した受信が可能、停電下でも乾電池で長時間受信可能という特性から、その高い有用性が改めて認識。

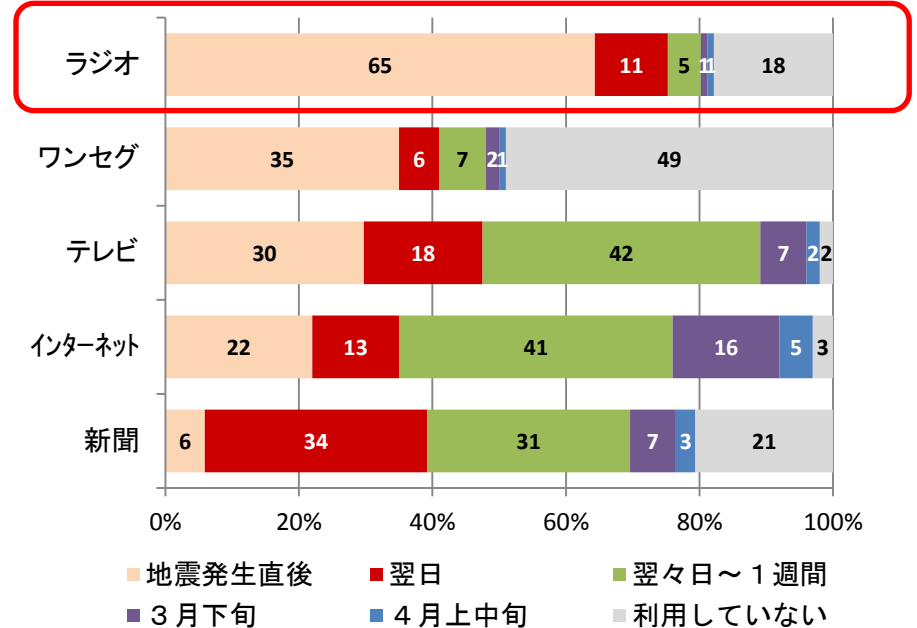
◆地震発生後、最初に利用したメディア



◆地震発生時の居場所



◆震災後の利用メディアと利用開始時期



- 震災1時間後、家中の電池をかき集めてラジオのニュースを聞いた。(青森・男20代)
- 避難した小学校では底冷えがひどく、寒さをまぎらわすためにラジオを聞いた。眠れない深夜に人の声を聞き続けることで安心できた。(宮城・女20代)
- 停電が続いたので家族みんなでコタツに入り、懐中電灯の灯りの中でラジオの地震情報を聞いた。普段からよく聞いていて聞きなれた声なので安心感があった。(岩手・女20代)

NHK放送文化研究所「放送研究と調査」2011年9月号より
 ・2011年5月25日～6月3日実施
 ・岩手、宮城、福島、青森、茨城在住 18～49才男女(調査会社のモニターから抽出) 計3152名

1 放送ネットワークの強靱化

(1) 難聴対策、災害対策としての送信ネットワークの強靱化

災害時において、被災情報、避難情報といった生命・財産の安全確保に必要な情報が適切に提供されるよう、難聴対策、災害対策として、周波数状況等を踏まえ、送信ネットワークの強靱化を推進する必要がある。

① 難聴対策、災害対策としてのラジオ送信所の整備

ラジオ放送事業者における難聴対策や災害対策としての送信所(中継局等)の整備を推進すべきである。

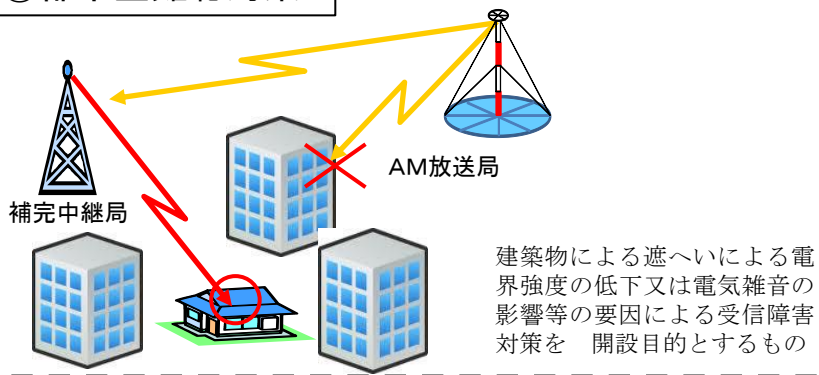
その際には、AMラジオ放送について、現在は外国波混信対策に限定されているFM波の利用を、難聴対策や災害対策にも利用可能とすることが適当である。

ただし、AMラジオ放送が使用している周波数は、海外にも広く伝搬するため、周波数の確保には外国主管庁との国際調整が必要とされており、ひとたび放送をやめた後にその周波数で再開することは容易ではなく、また、我が国で使用周波数が減少すると外国から到来する不要なAM波が増加する可能性も高まる。このため、FM波による中継局の整備に伴い、AM局を廃止するについては、国際権益確保の観点から、慎重な検討が必要である。(後略)

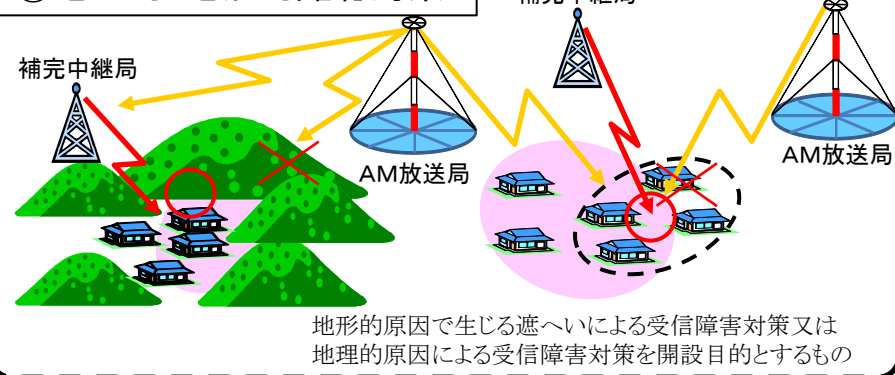
FM方式によるAMラジオ放送の補完中継局について

1. AMラジオ放送の難聴解消や災害時の放送継続のため、V-Low帯の一部(90~95MHz)の周波数等を使用して、下図の類型のFM補完中継局(AMラジオ放送を補完するFM中継局)の開設を可能とするための制度整備(「基幹放送用周波数使用計画」の変更等)を実施(平成26年4月1日)。
2. FM補完中継局の整備等を推進するため、各種支援策を実施中。

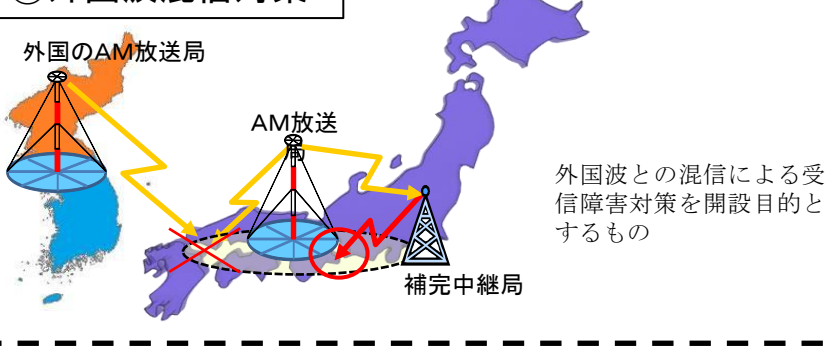
①都市型難聴対策



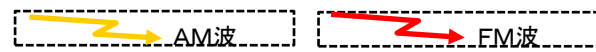
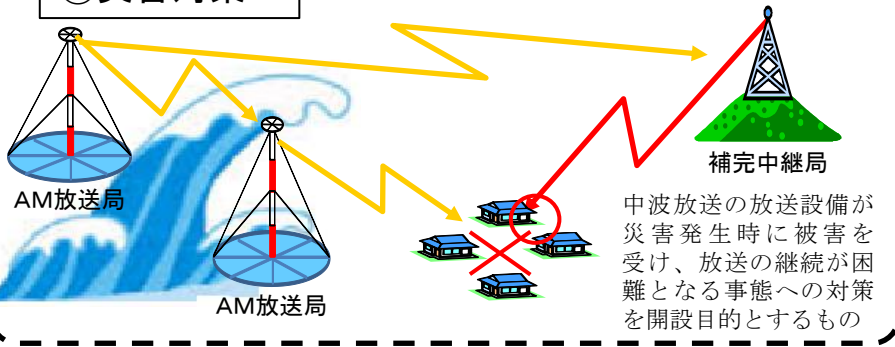
③地理的・地形的難聴対策



②外国波混信対策



④災害対策



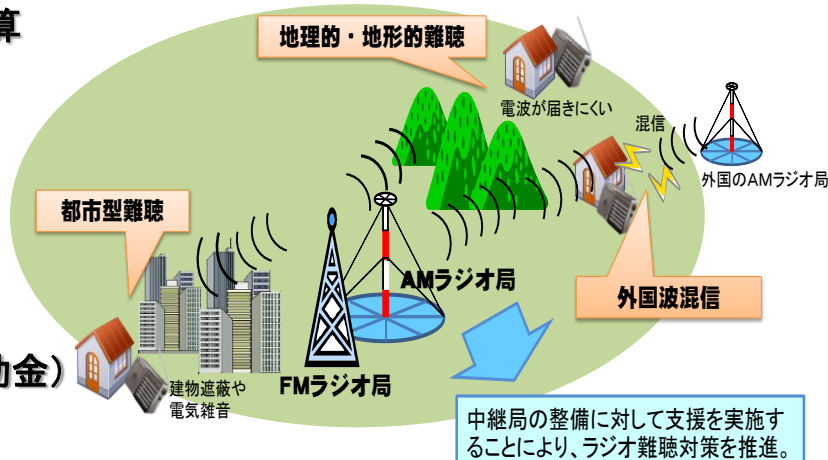
国民生活に密着した情報や災害時における生命・財産の確保に必要な情報の提供を確保するため難聴対策・災害対策としてのラジオ送信所の整備、放送施設の災害対策強化等を推進。

1 難聴対策ラジオ中継局整備(補助金)

【難聴対策】

【14.5億円(電波利用料財源)】※平成27年度当初予算

- (1)事業主体
民間ラジオ放送事業者、自治体
- (2)補助率
 - ・ 地理的・地形的難聴、外国波混信 2/3
 - ・ 都市型難聴 1/2



2 災害対策ラジオ中継局整備、放送施設災害対策等(補助金)

【1.0億円(一般財源)】※平成27年度当初予算
【3.3億円(一般財源)】※平成26年度補正予算

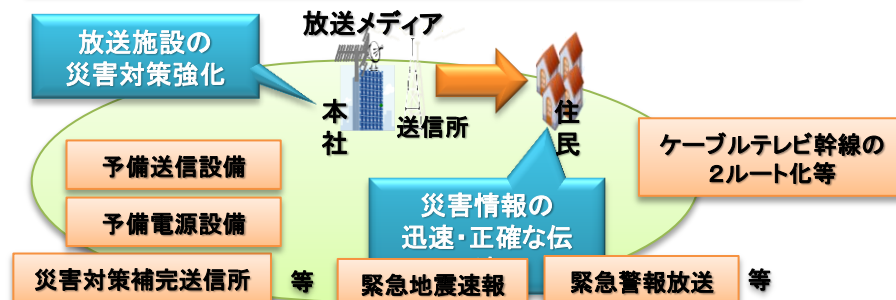
- (1)事業主体
民間ラジオ放送事業者、民間テレビ放送事業者、自治体等
- (2)補助率
・ 1/3(自治体の場合は1/2)

3 災害対策ラジオ中継局整備、放送施設災害対策等(放送ネットワーク災害対策促進税制)

- (1)対象者
民間ラジオ放送事業者
- (2)特例措置
 - ・ 国税(法人税):特別償却15%
 - ・ 地方税(固定資産税):課税標準3/4(取得後3年間)
 - (法人住民税・事業税): 国税に準じた措置

【災害対策】

国民の生命・財産の確保に不可欠な情報の確実な提供



予備送信設備、災害対策補完送信所、緊急地震速報設備等の整備を促進

※ 予算措置は上記全体、税制措置は上記の一部が対象。

AMラジオ放送のFM補完中継局整備状況（H27.12末現在）

	3大広域圏	3大広域圏以外	合計	
進捗状況	補助金 交付決定済	-	7社(10局)	7社(10局)
	予備免許済	3社(3局)	7社(13局)	10社(16局)
	放送開始済	5社(5局)	10社(21局)	15社(26局)
	計	8社(8局)	18社(44局)	26社(52局)

※ 全国のAMラジオ事業者数は47

山口放送
【KRY山口FM補完局】(都市型難聴対策)
 (H27.7.21放送開始)
【KRY美祢補完局】(外国波混信対策)
 (H27.11.29放送開始)
【長門中継局】(外国波混信対策)
 (H27.11.18予備免許済み。本年春頃放送開始予定)
【KRY萩FM補完局】(都市型難聴対策)
【KRY柳井FM補完局】(外国波混信対策)

RKB毎日放送、九州朝日放送
【福岡FM補完局】(都市型難聴対策)
【北九州FM補完局】(災害対策)
【糸島FM補完局】(都市型難聴対策)
【行橋FM補完局】(都市型難聴対策)
 (全てH27.9.2予備免許済み。本年春頃放送開始予定)

長崎放送
【NBC長崎FM局】(都市型難聴対策)
 (H27.10.1放送開始)
【NBC諫早FM局】(地理的難聴対策)
 (H27.12.1放送開始)

熊本放送
【RKK熊本FM】(都市型難聴対策)
 (H27.9.2予備免許済み。本年春頃放送開始予定)

南日本放送
【MBC鹿児島FM】(災害対策) (H27.1.1放送開始)
【MBC阿久根FM】(災害対策)
【MBC枕崎FM】(災害対策)
【MBC鹿屋FM】(災害対策)
 (H27.11.1放送開始)

北陸放送
【MRO金沢FM補完局】(都市型難聴対策)

近畿広域3社(毎日放送、朝日放送、大阪放送)
【大阪FM補完局(生駒山)】(都市型難聴対策)
 (H27.7.27予備免許済み。本年春頃放送開始予定)

中国放送
【FMRCC広島】(都市型難聴対策)
 (H27.12.1放送開始)
【FMRCC福山】(都市型難聴対策)

大分放送
【OBS大分FM】(都市型難聴対策)

宮崎放送
【MRT宮崎FM】(災害対策)
 (H27.9.2予備免許済み。本年春頃放送開始予定)

北日本放送
【KNB富山FM】(災害対策)
 (H26.12.1放送開始)

秋田放送
【ABS秋田FM】(災害対策)
 (H27.3.2放送開始)

新潟放送
【BSN新潟FM局】(災害対策)
 (H27.11.1放送開始)

アイブシー岩手放送
【IBC山田FM】(地理的難聴対策)
 (H27.3.29放送開始)
【IBC岩泉小本FM】(地理的難聴対策)
 (H27.7.7放送開始)
【IBC一関FM補完局】(地理的難聴対策)
 (H27.12.1放送開始)

ラジオ福島
【東金山局】(地理的難聴対策)
 (H27.10.26予備免許済み。本年春頃放送開始予定。)
【西金山局】(地理的難聴対策)

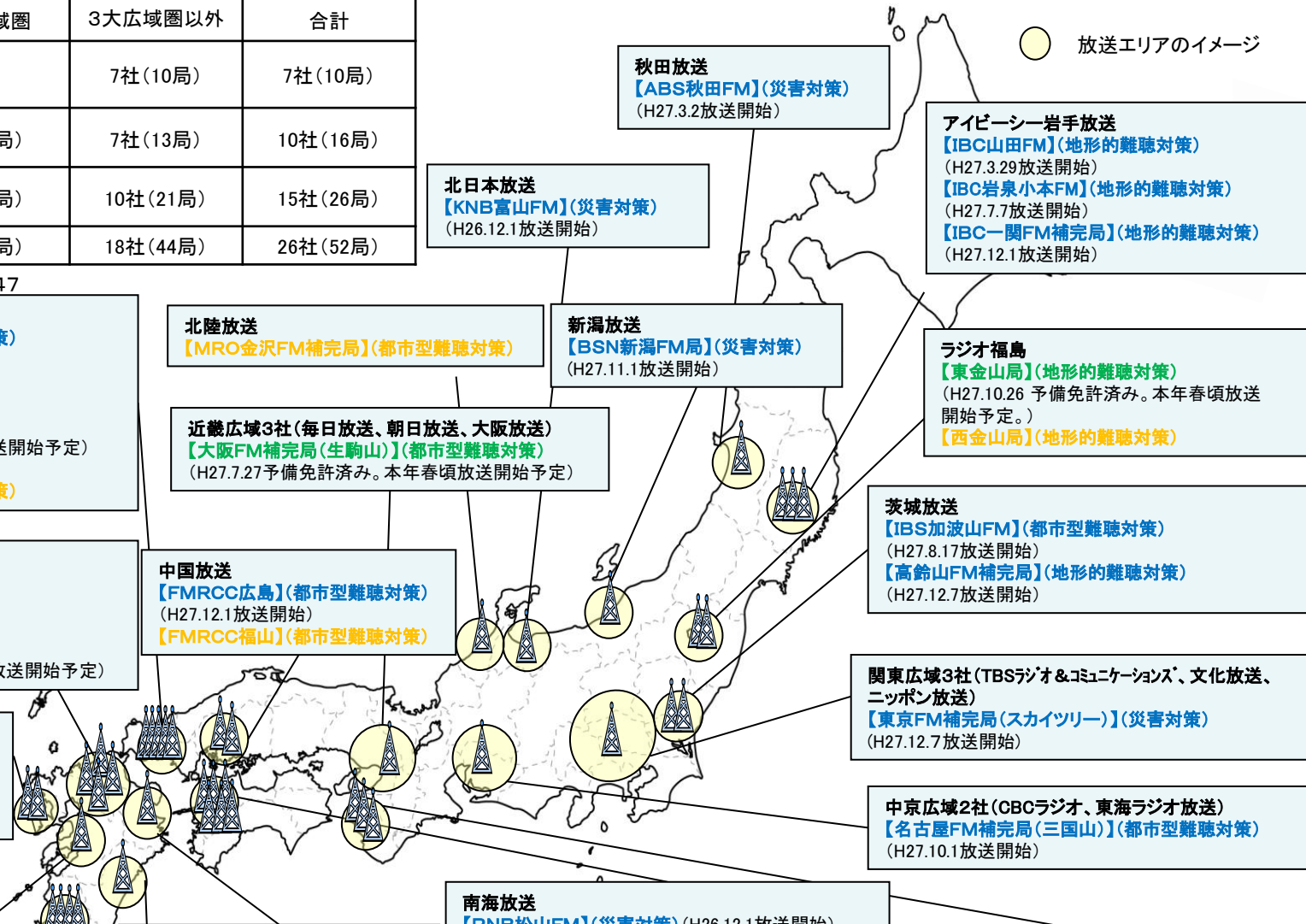
茨城放送
【IBS加波山FM】(都市型難聴対策)
 (H27.8.17放送開始)
【高鈴山FM補完局】(地理的難聴対策)
 (H27.12.7放送開始)

関東広域3社(TBSラジオ&コミュニケーションズ、文化放送、ニッポン放送)
【東京FM補完局(スカイツリー)】(災害対策)
 (H27.12.7放送開始)

中京広域2社(CBCラジオ、東海ラジオ放送)
【名古屋FM補完局(三国山)】(都市型難聴対策)
 (H27.10.1放送開始)

南海放送
【RNB松山FM】(災害対策) (H26.12.1放送開始)
【RNB新居浜FM】(災害対策) (H27.3.21放送開始)
【大洲FM補完局】(地理的難聴対策) (H27.12.1放送開始)
【川之江FM補完局】(地理的難聴対策) (H27.12.1放送開始)
【八幡浜FM補完局】(災害対策)
【宇和島FM補完局】(災害対策)

和歌山放送
【和歌山エリアFM補完局】(都市型難聴対策)
 (H27.12.22予備免許済み。本年春頃放送開始予定。)
【県御坊FM中継局】(地理的難聴対策)
【県田辺FM中継局】(地理的難聴対策)



- 主要国においては、中波放送事業者による超短波帯でのサイマル放送を認めており、サイマル放送を行う事業者が多い。
- 米国は、難聴対策のため、中波放送事業者とは別主体のものも含めた既存のFM中継局の活用を認めている。

米国	<p>○中波放送局が難聴対策のため、超短波放送局を活用してサイマル放送を行うことを認めている。全4,700局の中波放送局のうち、900局以上がFM中継局によるサイマル放送を実施。</p>
英国	<p>○中波放送及び超短波放送のサイマル放送を認めている。 ○全国BBCネットワークの一つであるBBC Radio 4、多くのローカルBBC及び一部のローカル民間放送局がサイマル放送(一部のみサイマルの場合もある)を実施。</p>
フランス	<p>○中波放送及び超短波放送のサイマル放送を認めている。チャンネルによって、完全なサイマル放送を行う場合と、時間帯により異なる番組を放送する場合がある。</p>
ドイツ	<p>○中波放送及び超短波放送のサイマル放送を認めている。大半の中波放送事業者は、音質の高さなどから超短波放送によるサイマル放送を実施してきた。</p>

欧米主要国の中波放送(AMラジオ放送)に係る政策について

- 米国は今後も中波放送を維持する方針。英国は今後、中波放送の在り方を検討。
- ドイツ、フランスは2015年12月に公共放送局の中波放送を停波。これにより、ドイツでは中波放送を全て停波、フランスでは民間放送事業者1者のみが中波放送を実施している状況。

中波放送を継続している国

米国	○連邦通信委員会(FCC)は、中波放送局の活性化に関する規則制定提案公告(NPRM)を行う等、中波放送が維持・活性化されるべきであるという立場。
英国	○既存の多くの中波放送局は成功裏に運営し続けている。中波放送の在り方については、デジタルラジオへの移行スケジュールを決定する中で今後検討。

中波放送(公共放送)を停波した国

	公共放送の停波時期	停波の経緯
フランス	2015年12月	<p>○2015年4月、仏会計検査院が、公共放送であるラジオフランスの在り方について報告書を公表し、コストの面から2015年末までの中波放送停波を求めた。ラジオフランスは、同月、2015年から2019年にかけて戦略を策定し、その中に中波放送停波を盛り込んだ。</p> <p>○2015年12月31日、ラジオフランスは中波放送を停波。</p> <p>○2016年1月時点では、民間放送1者(ブルターニュ5。2015年6月放送開始)のみが中波放送を実施。</p>
ドイツ	2015年12月	<p>○ドイツでは、公共放送であるドイチュラントラジオ、ドイツ公共放送連盟(ARD)に加盟する9局の州公共放送局が中波放送を実施していた(民間放送は実施せず)。</p> <p>○ドイチュラントラジオに対しては、独立機関である「放送機関の財源需要審査及び確認のための委員会」(KEF)が、2012年1月にコストの面から中波放送の停波を要求。</p> <p>○2015年12月31日までに各放送局は順次中波放送を停波。停波の主な要因としては、出力の強い中波放送のためには膨大な電気コストがかかること、リスナーが超短波放送(FMラジオ放送)を優先していることによる。</p>

2-2. デジタル放送の取組

リアルタイム型放送だけでなく蓄積型放送により、映像・音声・データの様々な情報を柔軟に組み合わせる地域向けの放送サービス

デジタルラジオ (音声)

- ・ラジオをクリアな音声で提供



地域情報・災害情報 (映像・音声)

- ・詳細な地域情報、輻輳のない放送の特性を活かした迅速な災害情報の提供



交通情報 (映像・音声)

- ・詳細な道路・交通情報・周辺地域情報の提供
- ・災害時のドライバーへの情報提供

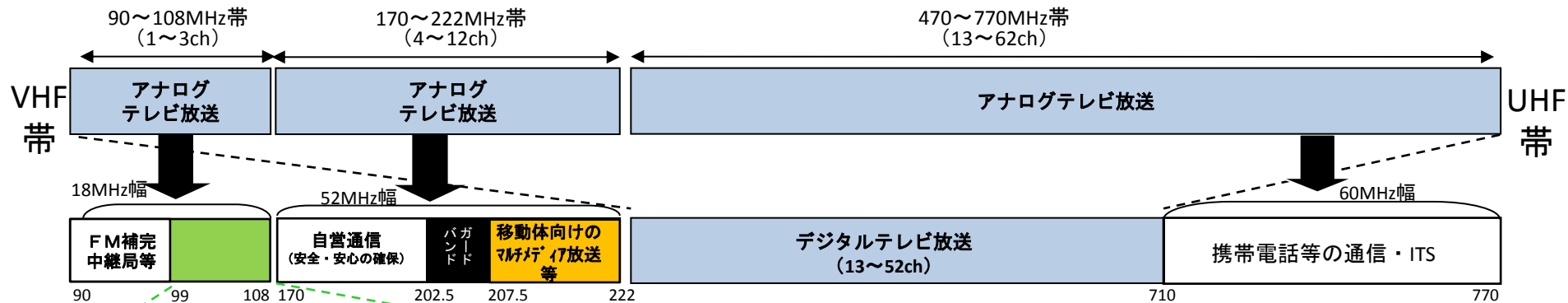


電子チラシ・サイネージ等 (映像)

- ・タブレット等への電子チラシやバス内・街中等にあるサイネージへの情報等を提供



○ 地上テレビジョン放送のデジタル化完了後の空き周波数の一部を利用



V-Lowマルチメディア放送(99MHz～108MHz)

V-Lowマルチメディア放送は、携帯端末や車載型の受信機で、移動しながらでも情報入手できる「携帯性・移動性」と、不特定多数に対して同時に情報を提供することができる「放送」という機能を有する新たなメディアである。また、公共向けのデジタルサイネージへの利用も可能である。全国7つの地方ブロックを対象とし、地域密着の生活情報や安心安全情報等を放送する。

リアルタイム型放送

■ 全ての視聴者が同時に受信設備において視聴することができる形態の放送



蓄積型放送

■ 受信者があらかじめ受信設備に蓄積させておくことにより、蓄積後の任意の時間に視聴することができる形態の放送



※映像、音響、データ等の様々な情報を組み合わせて放送することが可能。

- 株式会社ミュージックバードは、通信衛星（CS）を用いた高音質のデジタルラジオ放送“SPACE DiVA”を平成17年より開始。
- 音楽専門チャンネルとして、クラシック、ジャズ、ロック・ポップス、J-POP、歌謡曲・演歌、ダンス／ソウル、ヒーリング、カフェ／イージーリスニング等様々なジャンルの音楽を配信。
- 初回加入料は1,200円（税別）。あとはチャンネル数に応じて、2,000円／3,000円／4,000円の3通りの基本契約を用意（いずれも税別）。
- 放送の聴取には専用チューナーの購入またはレンタルが必要（レンタル料は工事費込みで月額1,500円（税別））。チューナーをミニコンポ、スピーカー、パソコン等に接続して聴取する。

ミュージックバードの専用チューナー



ミニコンポ、スピーカー、パソコン等に接続して放送を聴取



	方式	進捗状況	経緯
米国	IBOC (In-Band On-Channel)	<ul style="list-style-type: none"> ・2057局が放送を実施。1400局以上が多チャンネル放送を実施。(2015年3月) ・全米の約90%の世帯に到達可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2003年から地上デジタルラジオ放送の実験放送が開始され、2004年1月に対応受信機の販売が開始された。
英国	DAB (Digital Audio Broadcast)	<ul style="list-style-type: none"> ・415局が放送を実施(2016年1月) ・全国人口カバー率: 96% (2016年1月) ・受信機家庭普及率: 54% (2016年1月) ・受信機販売台数: 累計2560万台 (2016年1月まで) ・デジタルラジオが全ラジオ放送の聴取時間に占める割合: 42% (2016年1月) ・新車への受信機搭載率: 74% (2016年1月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1995年9月にBBCが全国のデジタルラジオ放送を開始した。また、1998年には、商業全国放送としてDigital Oneに免許が付与され、1999年に放送を開始している。 ・文化・メディア・スポーツ省(DCMS)が2010年7月に定めた「デジタルラジオ行動計画(Digital Radio Action Plan)」の第1版において、アナログ放送からデジタル放送への切替時期については、市場の準備が整った段階で決定している。具体的には、デジタルラジオが全ラジオ放送の聴取時間に占める割合が50%、全国放送のカバー率がFM放送と同等、地域放送のカバー率が人口の90%となったときに、切替スケジュールを定めることとしている。 ・DCMSは2014年1月に「デジタルラジオ行動計画」の第10版を公表。切替基準の達成に向けて進捗があったとの記載がある。

	方式	進捗状況	経緯
フランス	DAB+ (Digital Audio Broadcast Plus)	<ul style="list-style-type: none"> ・102局が放送を実施(2016年1月) ・全国人口カバー率: 19% (2015年9月) ・受信機販売台数: 累計23万台 (2016年1月まで) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚最高評議会(CSA)は2008年3月にデジタルラジオの免許公募を開始し、2009年5月にパリ、マルセイユ、ニースの3都市圏で合計136局を選定した。2009年末にも都市圏ごとに試験放送が開始される予定であったが、民間放送事業者が技術規格と経済性について反対を表明し延期となった。 ・CSAは2012年4月に再度免許公募を行い、2013年1月に106局にデジタルラジオの免許を付与した。2014年6月から順次放送開始。 ・2015年1月にCSAはデジタルラジオを支援するための計画を公表した。リヨン、ナント、ストラスブール、リールなどの都市でデジタルラジオの免許付与を計画している。
ドイツ	DAB+	<ul style="list-style-type: none"> ・150局が放送を実施(2016年1月) ・ドイツ公共放送連盟(ARD)の人口カバー率: 95% (2015年11月) ・受信機家庭普及率: 11% (2016年1月) ・受信機販売台数: 累計640万台 (2016年1月まで) ・新車への受信機搭載率: 10% (2015年9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1999年にDAB方式のデジタルラジオが開始されたが、普及が進まなかった。 ・地上ラジオのデジタル化を再度推進するため、2011年8月、全国の主要都市と高速道路でDABの後継規格であるDAB+方式による放送が始まった。 ・超短波放送のデジタル化の期限を2015年とすることが電気通信法に規定されていた。しかし、デジタルラジオ放送の需要不足を踏まえ、2011年10月の電気通信法改正により期限を2025年まで延長できることとなった。2015年以降の新たなデジタル化期限はまだ定められていない。

2-3. 受信機の普及への取組

FM補完放送対応端末（ラジオ）

○従来のFM放送の周波数は76MHz～90MHzを使用。AMのFM補完放送は主にV-Low帯の一部である90MHz～95MHzを使用。

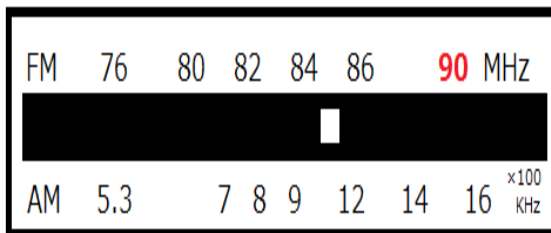
○従来のFM放送の周波数を採用しているのは日本のみ。その他のほとんどの国は87MHz～108MHz。各メーカーは「ワールド仕様」として76MHz～108MHz仕様を従来から生産販売。

SONY・Panasonic・TOSHIBA・ANDO・朝日電器・dretec・オム電機・
太知ホールディングス・REDSPYCE・YAMAZEN・フジキン・日立工機・TMY・
TDK・J-Force・GLORIDGE
(民放AMラジオ社調べ)

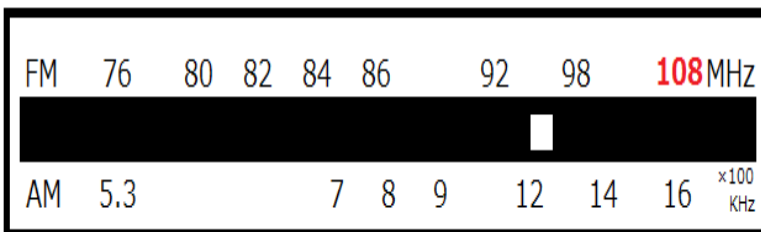
○さらに、各メーカーは、総務省におけるFM補完放送推進の動きを受け、FM補完放送に対応した受信機を新たに販売。

FMラジオ/コンポ：SONY・Pioneer・ONKYO・JVCケンウッド・Panasonic・
TOSHIBA・DENON・YAMAHA・オム電機・朝日電器・
廣華物産・dretec・クサキキ仏・小泉成器・テイアット・IA
ホールディングス・ヤサワコーポレーション・BOSE・グリーンハウス・
ロジテック・テアック・トウシヤ
カーオーディオ/カーナビ：JVCケンウッド・Pioneer・FUJITSU TEN・Clarion
HONDA・三菱電機 (民放AMラジオ社調べ)

(従来のFM放送対応端末)



(AMのFM補完放送対応端末)



FM補完放送 対応端末普及を目指す連絡会

民放AMラジオ社全47社は、対応受信機の普及を目指す全国レベルの組織として、本年3月2日に「FM補完放送対応端末普及を目指す連絡会」を発足。FM補完中継局に関する情報の集約、各受信機メーカーへの提供等を実施。

「FM補完放送」の呼称を「ワイドFM」に

関東広域AMラジオ3社(TBSラジオ、文化放送、ニッポン放送)は、FM補完放送をより親しみやすく、よりわかりやすく伝えるため、3社共通のネーミングを「新たに広がる周波数帯」、「さらに広がるラジオの空間」をイメージした「ワイドFM」とし、メーカーや量販店に活用を呼び掛け。

SONY
make.believe

- 名刺サイズラジオ
ICF-R351
ICF-RN931
SRF-R431
SRF-M807
ICF-R46
ICF-T46
ライターサイズラジオ
SRF-M98
SRF-S86
山ラジオ(登山ハイキング)
ICF-R100MT
手のひらサイズラジオ
ICF-51
ICF-M55
お手軽ラジオ
ICF-305
ICF-9
ICF-P21
ホームラジオ
ICF-M780N
ICF-29
ICF-801
ICF-EX5MK2
非常用ラジオ
ICF-B03 *
ワールドバンドレシーバー
ICF-SW23
ICF-SW7600GR
ICF-SW23
ICF-SW35
ICF-SW11
ICF-SW07
CDラジオ
ICF-CD74
ラジオカセット
CFM-E5 *
システムステレオ
MAP-S1
ウォークマン
NW-M500
NW-S10
NW-E080

Panasonic
Ideas for life

- 通勤ラジオ
RF-NA17RA
RF-NA17A

- 携帯ラジオ
RF-P150A
RF-P50A
薄型ライターサイズラジオ
RF-NA030A *
ホーム/その他ラジオ
RF-U150A
RF-2400A
ラジオカセット
RX-FS22A
RX-M40A

TOSHIBA

- ポケットラジオ
TY-SPR5
防水CDクロックラジオ
TY-CDB5

AudioComm

- ポケットラジオ
RAD-F240N
RAD-F127N-H/A/W
RAD-F300N-W/K/P
RAD-S800N
RAD-F3868Z
RAD-F876Z
クロックラジオ 防水ラジオ
RMP-M810K
CDラジオ
RCR-80Z-W/P/K
RCR-869Z
RCR-T822K
地デジ音声対応ラジオ
RAD-TV070Z-W/K
据え置き型ラジオ
RAD-F270N
RAD-F770Z-H/WK
RAD-S600N

ANDO

- 通勤ラジオ
AR2-320
AR4-434S
ポケットラジオ
R7-287
R11-432
R9-278
AR3-467W
9バンドラジオ
AP5-374S

- ワールドレシーバー
S10-887DY
S11-896D
ER4-330SP
シンセサイザーラジオ
S11-783DPU
PL7-468SL
ピタッと選局ラジオ
R13-089DZ
ちびラジオ3
RA-069
防滴おふろラジオ
RA-172WR
ソーラー充電式ライトラジオ
R10-088KLZ
ラジオ付クロック
RK7-837
おけいこラジオカセ
RC11-889Z
RC7-720D
RC13-352Z
ラジオレコーダー
ER9-336D
FMラジオ/MP3プレーヤー
RH9-175

ELPA

- 通勤ラジオ
ER-N32F *
ER-N33R *
ER-N34PR *
コンパクトラジオ
ER-P26 F*
ER-C25F *
ER-C28FL *
ポケットラジオ
ER-P29P *
AM/FM 短波ラジオ
ER-20T-N *
ER-21T-N *
防滴シャワーラジオ
ER-W10F*
ラジオカセットレコーダー
CTR-201

dretac

- コンパクトラジオライト
PR-319
PR-307
手回しケータイ充電ラジオ
PR-318
ソーラーダイナモラジオ
PR-317

- 手回しケータイ充電ラジオ
PR-306
ダイナモラジオライト
PR-303
防滴ラジオ「ラク」
PR-315
充電たまごラジオ
SP-220E
SP-110BL
MG-119S
MG-120
ポケットラジオ
NR-600
小型スリムラジオ
NR-500

RED SPYCE

- ラジオ&ライト
CB-G411
CB-G411
ソーラーラジオボックス
CB-G406
キューブソーラーラジオ
CB-G402/CB-G425

YAMAZEN

- ラジオ
DOR-M100
手回し充電式メガホン
FJK-D005

Hitachi Koki

- コードレスラジオ
UR18DSL2

TMY

- 手回し式充電ラジオライト
LE-DMR03WH

TDK

- 目覚ましステレオスピーカー
TCC8431*
防災ラジオライト「グラビカ」
JF-ERL1W

GUORIDGE

- ワールドラジオ
RR001
ラジオセレクター
GR-117

SONY FM補完

ZS-RS80BT CMT-X3CD ICF-P26 ICF-P36 ICF-B09 ICF-B99 ICD-UX566F/560F CMT-X3CD CMT-X5CD CMT-X7CD ICZ-R250TC CMT-SBT40 ICF-C1 ZS-S40

TOSHIBA FM補完

12月上旬発売

ICF-S80 ZS-E80 NW-A10 ICD-UX533FA CMT-SX7 ICF-R354MK CDF-S51 CDF-R5501 TY-CDW88 TY-CDK8 TY-SPR7 TY-CWX81 TY-C15 TY-C24

12月上旬発売

TY-TPR2 TY-APR1 TY-GRX71 TY-CK2 TY-HR2 TY-CR110 TY-GR30F TY-SHR3 TY-SHR3 TY-SPR3 TY-CR26 TY-CDR8 TY-CX7 TY-CX7 TY-CX7 TY-CX7

Panasonic FM補完

SC-ALL5CD SC-PM250 SC-PM100 RR-XS460 SC-PM70 RF-ND50TV XK-330 K-505 CLX-50 CR-03 X-USX TX-R150

KENWOOD

ONKYO

DENON

YAMAHA

X-UD5 X-U5 X-NFR7 TX-NR646 AVR-X4200W RCD-M40 AVR-X1200W AVR-X2200W SX-80 R-N602 MCR-B043

RX-S601 T-S501 T-S1100 RX-A3050 RX-A2050 RX-A1050 RX-A850 RX-V779 RX-V579 RX-V479

JVC

Pioneer

CK-A5100 TSX-B141 TSX-B235 RX-V379 RD-W1 EK-S5 NX-P630 UX-LF77 X-CK35 X-EM22

marantz

BOSE

TEAC AudioComm

X-EM12 XC-HM82 SR7010 NR1606 M-CR611 Wave SoundTouch music system IV Wave music system IV PD-301 RAD-T210N RAD-T941N

RAD-F777Z RAD-F1771M RCR-400HP RCS-U800M RAD-F598 RAD-F3357M RCS-S708M RCS-W877M RAD-F2031M RAD-S768Z RAD-F830Z RAD-F2031M RAD-C867Z RAD-F439N RAD-V321N

ELPA

KOIZUMI

WINTech

RAD-F630Z RAD-FO1N RCS-S708M RCD-370Z ER-C57WR ER-P36F RCS-S708M ER-C38FL ER-C37F ER-W30F SAD-4959/W SAD-1222/A SAD-1716/A CDR-W70 HR-K71 PCT-02RM CDR-01

YAZAWA

KC-1515US CDR-N6 GBR-3C HR-E90 KBYL-05 KBYL-08 KBYL-03 KBYL-01 CDR-B39 KC-131 DMR-C610 MJ-182 WCT-M RDI2BK RDI35V RD5BK

dretac Bearmax **GREEN HOUSE** **Logitech** **SANSUI**

デジタルステレオプレーヤー

RDI1WH RD6BK PR-320 CD-889 MA-18CD GH-KANART8-RD LTV-15280P SMC-150BT SMS-900BT

HONDA
純正カーナビゲーション
Gathers ディーラーオプション

VXM-165VFNi VXM-165VFEI VXM-165VFI VXM-164VFI VXM-164CSI

DIATONE SOUND.NAVI



Pioneer carrozzeria



KENWOOD



FUJITSU TEN ECLIPSE



Clarion



(発売予定を含む)(在京3社調べH27.12現在)

- 平成27年12月21日から、チューナー内蔵のスマートフォンを発売開始。大手家電量販店やネットショッピングサイトで購入可能(32,000円程度)。FM放送、ワイドFM、地上放送(ワンセグ)にも対応。
- 平成28年1月13日から、スマート端末用のWi-Fiチューナー(非売品)の無料モニターを募集開始。V-Lowマルチメディア放送をスマート端末で視聴するには、Wi-Fiチューナーのほかにi-dioアプリ(Google Play及びApp Storeで無料配信予定)のインストールが必要。

i-dio / FM / TV対応
SIMフリースマートフォン

i-dio Phone

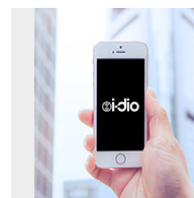
発売開始

ビックカメラ(全店舗 コジマ・ソフマップを除く)、ヨドバシカメラ(一部店舗)、
Amazon.co.jp、Shops.Love(TOKYO FM公式通販) で取り扱い開始



新放送サービス ©i-dio
Wi-Fi Tuner 無料モニター
50,000 名様 募集
(福岡・東京・大阪)

第1期締切
2月末



あなたのスマホがi-dio受信機に！
Wi-Fiチューナーでいち早く体験しよう

<発送は2016年2月以降、順次出荷を予定しています>

いまお持ちのスマホで体験。

※事業者公表資料等に基づき作成

一部のスマートフォン・タブレットにはFMチューナーが内蔵されている。端末にイヤホン（アンテナの役割を果たす）を差し込み、プリインストールされているアプリを起動することによって、FMラジオを聴取することができる。

FMチューナーが内蔵されている端末（例）

Xperia Z5
（日本・ソニーモバイルコミュニケーションズ）



HTC J Butterfly
（台湾・HTC）



- 米国では、携帯端末にFMチューナーを内蔵し、空中波を受信できるHybrid Radioの取組が進んでいる。
- SprintがFMチューナーを起動化したスマートフォンの取扱いを2013年8月に開始。また、Sprint以外の通信事業者の機種でも、FMチューナーが内蔵・起動されていれば、アプリのダウンロードによりFM放送の受信は可能(※)。
- ラジオ局23局を運営するEmmis Communicationsは、Hybrid Radioの機能を活用したスマートフォン・アプリ“NextRadio”を2013年8月より提供。Emmis Communicationsは、スマートフォン・アプリ“NextRadio”のメリットとして、ストリーミングサービスに比べて、データ使用量が20分の1、バッテリー使用量が3分の1であるとしている。

※現時点での対応機種は58機種。メーカーはAlcatel、HTC、Huawei、京セラ、LG、Motorola、Samsung、シャープ等。

NextRadio対応端末(例)



Kyocera Hydro Vibe



Sharp AQUOS®
Crystal




Samsung Galaxy S®6



HTC One® M9

NextRadioのウェブサイト (アプリはGoogle Playからダウンロード可能)

SUPPORTED DEVICES THE 411 BLOG FAQ FOR BROADCASTERS









nextradio®

LIVE AND LOCAL, WHEREVER YOU GO
Available for select FM-enabled Android devices

[DOWNLOAD APP](#)

[WATCH VIDEO](#)

[VIEW SUPPORTED DEVICES & CARRIERS »](#)

2-4. インターネットによる配信

「radiko」(インターネット配信)の概要

○「radiko.jp」(ラジコ)の概要

ラジオの放送番組をインターネット経由で同時配信するサービス。(株)電通及び参加するラジオ社が出資して事業会社(株式会社radiko)を設立し、平成22年12月1日より本サービス開始※【無料】。パソコン、スマートフォンで利用可能。平成27年10月時点で79局がサービスを提供している。各事業者の放送対象地域を基本として地域限定でサービスを提供。

※ 関東・関西地区からサービスを開始し、その後、順次サービスエリアを拡大。

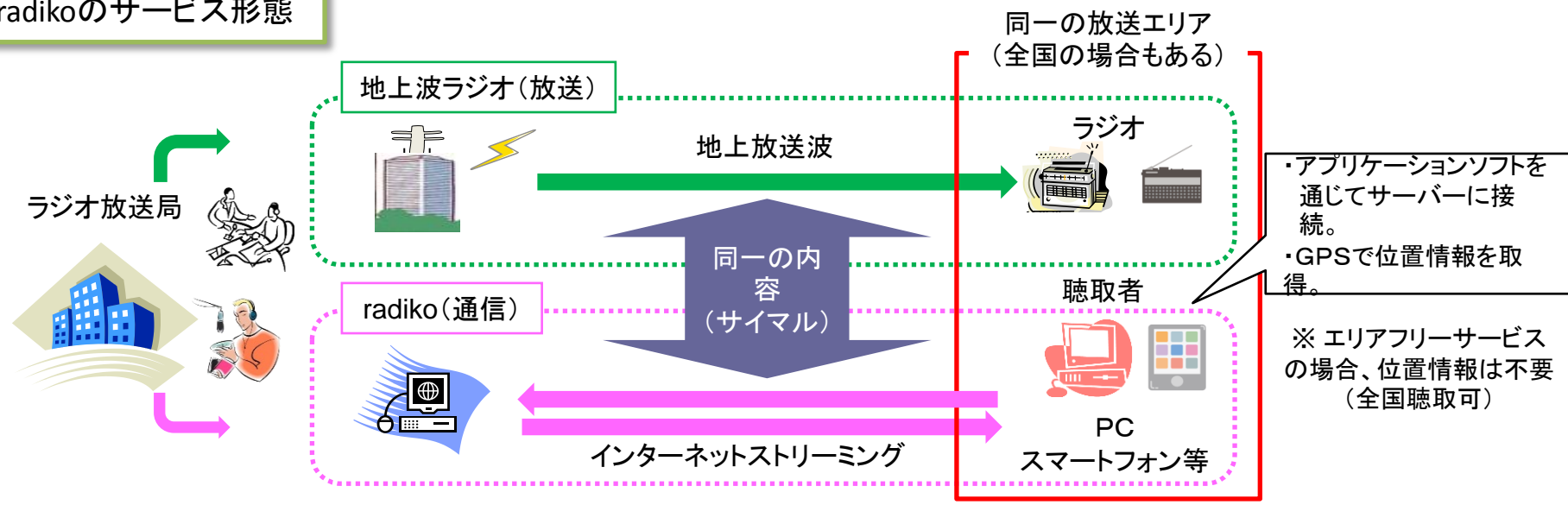
○「radiko.jpプレミアム」(エリアフリー聴取)の概要

radikoのサービスを全国で聴取できるサービス。平成26年4月1日よりサービス開始【有料:月額350円(税別)】。平成27年10月時点で77局がサービスを提供している。

※ ラジオNIKKEI第1、ラジオNIKKEI第2及び放送大学は通常のサービスにより全国で聴取可。

※ radikoの月間ユニークユーザー数は1,200万人前後で推移。

radikoのサービス形態



【出典】radikoホームページ掲載の報道資料を基に作成

「radiko」参加放送局一覧（2015年12月時点）

エリア	放送局
北海道	北海道放送
	STVラジオ
	FM北海道(AIR-G')
	FM NORTH WAVE
東北	青森放送
	岩手放送
	FM岩手
	東北放送
	山形放送
	ラジオ福島
	FM福島
	FM福島
関東	TBSラジオ
	文化放送
	ニッポン放送
	InterFM
	TOKYO FM
	J-WAVE
	ラジオ日本
	Bayfm
	FM NACK5
	FMヨコハマ

エリア	放送局
関東	茨城放送
	栃木放送
	FM栃木(RadioBerry)
	FM群馬
北陸 甲信越	新潟放送
	FM新潟
	新潟県民FM (FM PORT)
	北日本放送(※)
	FM富山
	北陸放送
	FM石川
	福井放送
	信越放送
	FM長野
中部	中部日本放送
	東海ラジオ
	岐阜放送
	ZIP-FM
	InterFM NAGOYA
	FM愛知

エリア	放送局
中部	静岡放送
	FM静岡(K-MIX)
	FM三重
近畿	朝日放送
	毎日放送
	ラジオ大阪
	FM COCOLO
	FM802
	FM大阪
	Kiss FM KOBE
	ラジオ関西
	FM滋賀
	京都放送
	FM京都
和歌山放送	
中国	山陰放送
	山陽放送
	中国放送
	広島FM

エリア	放送局
四国	四国放送(※)
	南海放送
	高知放送
九州 沖縄	RKB毎日放送
	九州朝日放送
	LOVE FM
	CROSS FM
	FM福岡
	長崎放送
	FM長崎
	熊本放送
	FM熊本
	大分放送
	FM大分
	宮崎放送
	南日本放送
	琉球放送
全国	ラジオNIKKEI
	放送大学
合計	79局

(※)radiko.jpプレミアム不参加

サービスの概要

- 「NHKネットラジオ らじる★らじる」は、夜間の外国電波混信やマンション等鉄筋コンクリート住宅の普及等によるNHKのラジオ放送が聴取しにくい状況の改善に資するための 補完的な措置として、ラジオ放送番組をインターネットで同時配信し、その効果を検証・確認するため、平成23年3月に総務大臣の認可を得て平成23年9月より特認業務として試行的にサービス開始。
- 平成27年4月1日以降は、同日に施行された改正放送法により、総務大臣認可を得た「実施基準」に基づき、恒常的にサービスを提供している。

サービスの提供形態

- 日本国内であればどの地域からもアクセス可能。PCだけではなく、スマートフォン、タブレット端末でも聴取可能。

チャンネル	提供番組
ラジオ第1(R1)	関東広域放送、近畿広域放送、中京広域放送、宮城県域放送
ラジオ第2(R2)	全国放送
FM	東京都域放送、大阪府域放送、愛知県域放送、宮城県域放送

- 平成28年度中に、地域の災害情報や身近な生活情報などの地域情報を提供するため、新たに広島県・福岡県・北海道・愛媛県の地域放送の提供も開始する予定。

1. ドコデモFM

- TOKYO FMが平成23年12月より開始した、JFN系列38局及びLOVE FMのラジオ番組をエリア制限なしで全国で聴取できる有料のサイマル放送サービス。
- NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクのいずれのスマートフォン(Android、iPhone)でも公式アプリをダウンロードすることで、利用可能。
- 料金は、会員登録後31日までは無料。32日目以降は、Android:30日間315円(税込)、iPhone:30日間360円(税込)

2. LISMO WAVE

- KDDIが平成23年1月より開始した、全国の民放FM52局のラジオ番組をエリア制限なしで聴取できる有料のサイマル放送サービス。
- KDDIのスマートフォン、タブレットで利用可能。平成25年3月よりiPhoneにも対応。料金は、1局単位で月額100円(税抜)、全ての対象局を聞ける「ラジオパック」は月額300円(税抜)。なお、初回加入時初月無料。
auスマートパス(月額372円(税抜))に加入していれば、追加料金無しで利用可能。

米国におけるラジオ番組のインターネット配信の例

▶ 米国でもスマートフォン等への地上ラジオ放送のサイマル配信が行われている。各ラジオ局が独自のアプリを立ち上げているほか、ラジオ局横断的なアプリも提供されている。

サービスの名称	TuneIn	iHeartRadio
サービス開始	2002年	2011年
対応OS	iOS/Android/Windows/Blackberry	iOS/Android/Windows/Blackberry
利用料金	無料	無料
対応機器	スマートフォン、タブレット、パソコン、テレビ、 カーオーディオ等	スマートフォン、タブレット、パソコン、テレビ、 ゲーム機、カーオーディオ等
ユーザー数	アクティブユーザー：6,000万	登録ユーザー：8,000万以上
聴取可能コンテンツ	北米、中南米、欧州、アジア、オセアニア、アフリカの多くのラジオ局の番組をサイマル配信。 日本の放送局もNHK、民放、コミュニティ問わず、多くの番組を配信。	全米のラジオ局1,500局以上の番組を配信。 なお、日本の放送局の番組は配信していない。

TuneInの日本語サイト：日本の放送局の番組も配信



iHeartRadioのウェブサイト

